

Toralson

ト ア ル ソ ン

240Z



OWNER'S MANUAL

オーナーズマニュアル兼保証書

TOALSON

240Z

取扱説明書

目 次

保 証 に つ い て	1
特 徴	2
フロアスタンド組み立て手順	3
組 み 立 て 手 順	5
コ ン ト ロ ー ル パ ネ ル	6
ス ト リ ン グ グ リ ッ パ ー の 操 作	9
ラ ケ ッ ト の セ ッ テ ィ ン グ	10
ス ト リ ン グ の 張 り 上 げ 手 順	12
付 加 機 能	14
メ ン テ ナ ンス と 調 整	15
故 障 に つ い て	17

この度は TOALSON 240Z をお買い上げ頂き有難うございます。
この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使い下さい。

保証について

TOALSON 240Z の材料の不良や製造時に起因する故障については、ご購入時より1年間(電子部品とクランプは6ヶ月間)保証致します。但し、保証期間中であっても、お客様の不注意、乱用、誤用、運搬、違法な改造等によって生じた故障については、この保証は適用されません。梱包材は、修理等が必要になった場合に備えて保管して下さい。返送される際の、包装の不備で生じた破損等については、責任を負いかねます。本機番号は本機裏面に記載されています。お問い合わせの際は、必ずこの番号をお知らせ下さい。本機は電動張機です。

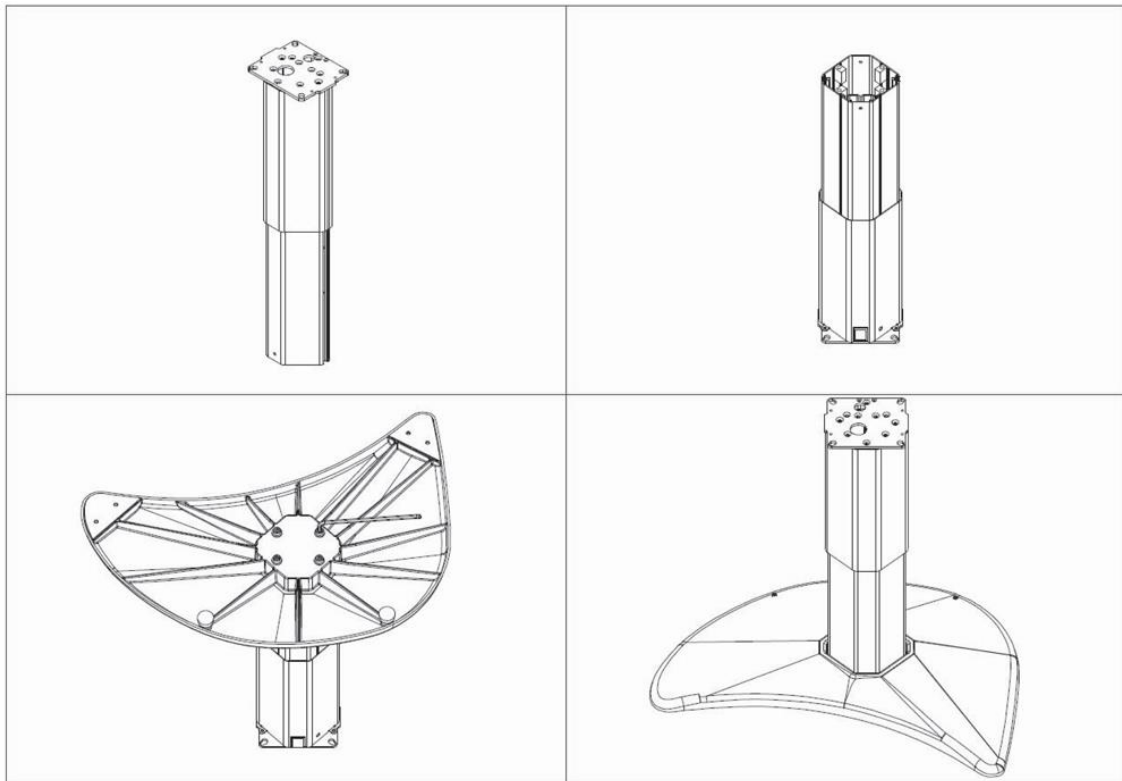
TOALSON 240Z



特 徴

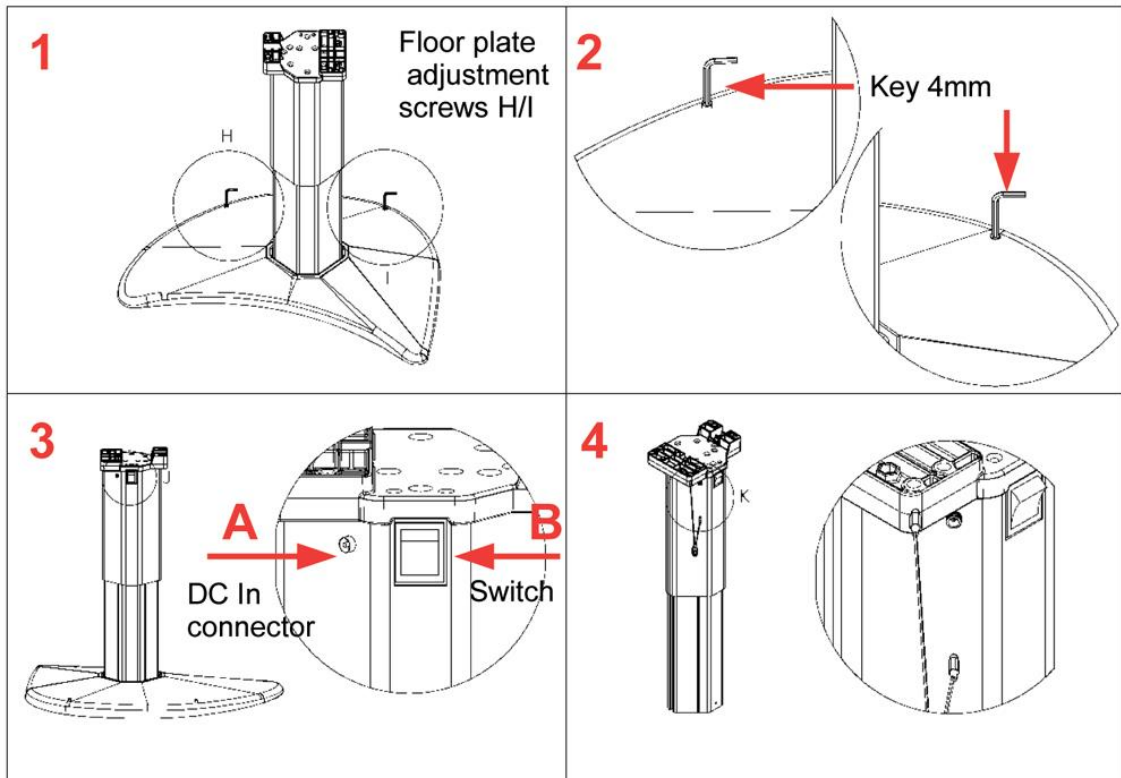
- ・ 11 ポンドから 89 ポンドの範囲で電動により確実に張り上げる事が出来ます。
- ・ プレストレッチ機能
- ・ 3 段階の引張りスピード調節機能
- ・ 9 つまで設定テンションを登録できるメモリー機能
- ・ デジタルによるテンション表示
- ・ ラケットのセッティングが格段に容易になった、センタースクリュー内蔵ターンテーブル
- ・ オートスタート・センサー付き横引きストリンググリッパー
- ・ 簡単な操作で確実に固定できるクランプ
- ・ 酸化皮膜処理された高強度アルミ押し出し成型ボディー
- ・ 便利なツールケース内蔵
- ・ 電動ムーブメント・フロアスタンド

フロアースタンド組み立て手順



本機フロアースタンドの支柱部分を平らな場所で逆さまに置きます。

フロアースタンドのプレート部分を逆さにして、支柱部分のねじ穴に合わせ、ねじをしっかりと締めます。



1. 4mm 六角レンチを使用して、必要に応じて、フロースタンドのプレート部分のねじで本体をぐらつかないように調整します。
2. 電源プラグ・ACアダプターに付随のコードが二股に分かれています。1方は本体マシンへ、もう一方はフロースタンドスイッチ横の「A」部分へ差し込んで下さい。
3. 「B」部分のスイッチを使用して、本機の高さが調整出来ます。



組み立て手順



ストリングクランプの取り付け

クランプをクランプ台に差し込みます。(出荷時にグリス処理されておりますので、ご使用前には乾いた布で不要なグリスを取り除いてください。)



クランプベース

オートリリース機能付きです。

コントロールパネル



テンションパネル前面

- A - スtringグリップ
- B - テンションスイッチ
- C - 液晶テンションディスプレイ
- D - コントロールパネル



テンションパネル裏面

- E - 電源スイッチ
- F - 電源差込口(本体)
- G - 電源差込口(フロアースタンド)
- H - フロアースタンド高さ調整スイッチ

注意:

1. 110V~220V の範囲でご使用下さい。
(220V 以上で使用すると、電源ショートの原因となります)
2. 屋外ではご使用にならないで下さい。
3. お子様の手が届かないところで保管してください。
4. 未成年の方がご使用になる場合は、必ず保護者の監督の下でご使用下さい。
5. テーブルタップコンセント(たこ足配線)で使用しないで下さい。

コントロールパネル



エスケープボタン

設定のキャンセル、又はホーム画面へ戻ります。



ノットボタン

1度押しと設定テンションの10%増し(初期設定)のテンションで引っ張ることが出来ます。1-30%増で設定も可能です。



音ボタン

消音、又は音ありの設定が出来ます。



スピード切り替えボタン

引っ張りスピードをファスト(初期設定)、ミディアム、スローの3段階に切り替える事が出来ます。



メイン・クロスストリングボタン

メインストリング・クロスストリングのテンションを設定させることが出来ます。



プレストレッチボタン

ストリングを設定したテンションより10%、引き増しし(初期設定)、一度解除した後、設定したテンションまで引っ張ります。1-30%増で設定も可能です。



ポンド・キロボタン

ポンド表記・キロ表記の切り替え設定が出来ます。



ストリング長さ計測計ボタン

ストリングの長さを計測することが出来ます。

(計測パーツ・別売)



F1 ボタン

設定・編集画面へ移動。
ノットテンション、プレストレッ
チテンションが設定出来ます。



F2/F3/F4 ボタン

テンション数値設定で使用。
F2 ボタン/10 の桁が増える。
F3 ボタン/1 の桁が増える。
F4 ボタン/小数点 1 位が増え
る。



F6/F7/F8 ボタン

テンション数値設定で使
用。F6 ボタン/10 の桁が減
る。F7 ボタン/1 の桁が減
る。F8 ボタン/小数点 1 位
が減る。



F5 ボタン

電源スタート時にボタンを長
押しし、テニスモード・バドミン
トンモードが選択出来ます。



メモリーボタン

9 つのテンションをあらかじめ記憶させておくことが出来ます。1~9 の番号の内、任意の番
号を選択しエンターボタンを押します。たとえば、3 桁のテンション表示の右側に「4」と表示
されている場合、そのままエンターボタンを押すと、4 番目の番号に現在設定されているテン
ションが記憶されます。繰り返しメモリーボタンを押すことで任意に 1~9 の間で番号を選
択し、テンションを設定後、エンターボタンを押すことでご希望の番号に記憶させることが
出来ます。



エンターボタン

設定の決定時や確認事項
の決定時に使用します。



リターンボタン

設定のキャンセル時や前の
画面へ戻る時に使用します。

電動ユニットの保護のための 60 秒自動停止

電動ユニットの保護の為、ストリングの設定テンション到達後、本機は最大で 60 秒までしかストリング
を引っ張り続けません。30 秒後ブザーが鳴り、-30-と表示されます。

その後、残り 20 秒でも表示が繰り返され、10 秒前からカウントダウンが始まります。

60 秒後、本機は引っ張りを停止します。ロータリー式モデルでは、スタート/ストップスイッチ、横引きモ
デルでは、ストリンググリッパー右端のスタート/ストップスイッチで戻す事が出来ます。

(サイレントモードでの作業中は、ブザーが鳴りません。)

ストリンググリッパーの操作



ストリンググリッパーの操作

ストリングをまず図のようにローラーガイドに時計回りに巻きつけ、チャック部分に挟みます。ストリングを挟む時は、必ず、ストリング全体がチャック部分に挟まれるように調整してください。テンションをかけ、ストリングを引っ張るときは、指などを挟まないよう充分注意してください。また、お子様には作業させないだけでなく、機械に近づかないよう配慮願います。



テンションをかける

ローラーガイドにストリングを巻きつけ、チャック部分にストリングを挟みテンションスイッチに触れ、テンションをかけます。スイッチ部分に触れるとオートセンサーが感知します。

万が一テンションをかけている途中、誤ってコントロールパネル上の他のボタンに触れた場合は、ストリンググリッパーが自動的に元の位置に戻ります。

ラケットのセッティング



フレームサポートポストの調整の仕方

ターンテーブルの両端についているスクリューを回し、フレームサポートポストをラケットの大きさに応じて動かし調整します。

注意:ラケットにダメージを与えないために、センターポストはフレームサポートポストを固定し終えるまでラケットに触れない位置で仮止めして下さい。



ラケットの固定

センターポストをラケットに触れない位置で仮止めします。

注意:きつく締めすぎるとラケットが破損する恐れがあります。



センターサポートの調整

フレームサポートポストを固定した後、2箇所のセンターサポートをフレームサポートポストに付いている小さい方の調整ノブを回し、少し抵抗を感じる程度で固定します。張り上げ途中にフレームサポートが緩くなる事がありますが、必要に応じて調整してください。



フレームショルダーサポート調整

ショルダーサポートは、ラケットの形状に合わせて、ラケットをしっかり固定するために、調整できるように設計されています。ショルダーサポートのパッド部分がラケットに面で当たるように調整した上で、固定します。

ラケットのセッティング



バドミントンラケットの固定

バドミントンラケットを固定する場合、付属のバドミントン用のアダプターと、センターポストアタッチメントパットを装着させて固定してください。

注意:きつく締めすぎるとラケットが破損する恐れがあります。

※写真は X-1000L 使用

バドミントン用パーツ

センターポストアタッチメントパット

■品番/1E9999 ※2個入り【単品売り無し】
※原産国:台湾



装着図

※仕様変更致しました。
お使いのセンターポストにこちらをお付け下さい。

サイドアーム用V型アダプター

※旧名: V型用アダプター

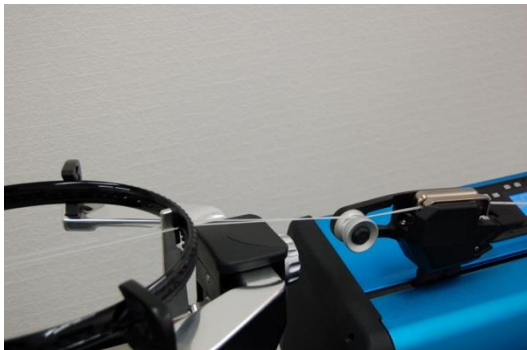
■品番/15503281
※原産国:台湾
※セット売りのみ(4個入り)



こちらの部品 (V型) に適合します。



ストリングの張り上げ手順



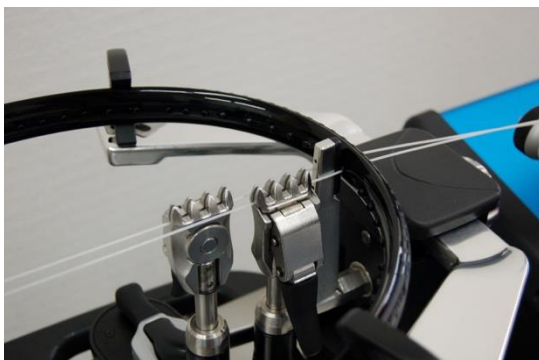
張り上げ手順

まず縦糸から張り始めます。
ストリングの両端をラケットグロメットの中央部分の両サイドの穴に入れます。



テンションをかける

クランプで固定した方とは反対側のストリングを
図のようにローラーに巻きつけ、テンションヘッドのガイドに挟み込みます。



クランプの作動

ストリングを挟む時は、まずクランプを持ち上げてからクランプレバーを押し下げてストリングを挟み、固定します。ストリングを挟む圧力については、張り上げ前に、圧力を調整してください。加工されたクランプの内側はクランプとストリングの摩擦を大きくし、ストリングを弱い圧力で挟み込みながらも滑ることなく設定テンションを保持します。



クランプベースの作動

クランプベースを固定するにはクランプベースのノブを時計回りに回し、固定します。解除する場合は、クランプを解放すると重みで下降し、解除されます(オートリリース機能)。又はボタンを押し解除します。テンションをかけて固定する場合は、テンションロスを防ぐために、ターンテーブルにしっかりと固定してください。
注意:クランプの中でストリングが滑った場合は、クランプレバーの反対側の調整ノブを時計回りに回して、クランプの圧力を調整してください。(圧力を強くしすぎないように慎重に調整してください。)

ストリングの張り上げ手順



クランプで固定後テンションスイッチのボタンに触れます。テンションヘッドが、設定テンションに合わせて移動し、設定テンションに到達すると止まります。ストリングをクランプで固定し、再度テンションスイッチのボタンを押すとテンションを解除します。



最初の縦系の止め方

同じ作業を繰り返し各ラケットメーカー指定のストリングパターンに沿って縦糸を張り上げ、写真の通り縦糸を止めます。



横糸の張り方

横糸は縦糸の間を交互に上下させながら網目に張り上げて行きます。



張りあがり

横糸の最後のストリングにテンションをかけ、クランプで止めた後、各ラケットメーカーが指定している場所で横糸を止めます。張りあがり後は、ショルダーサポートを緩めた後、フレームサポートを緩めてラケットを取り上げます。

付加機能



張り上げ用工具の収納

ストリングマシンの本体右側に張り上げ用工具を収納できるツールケースが付いています。



ターンテーブルブレーキ

張り上げの際、便利なターンテーブルブレーキが装備されています。

メンテナンスと調整



クランプの調整

ストリングクランプは使用するストリングの種類やゲージによって、通常細かい調整が必要となります。

ストリングが滑るようであれば、クランプレバーの反対側の調整ノブを回して、クランプの圧力を強くしてください。(締めすぎるとストリングが破断する場合がありますので注意してください。)

また、クランプの内側の加工された部分は、定期的に清掃し、ゴミやほこり、油分などを除去してください。

このクランプは、目の詰まったストリングパターンのテニスラケットやバドミントンにさえも使用できるよう設計されています。



クランプベースの調整

万が一クランプベースがロックレバーを回し、ターンテーブルに固定しても滑る場合は、ベースロックレバーを調整する必要があります。ベースロックレバー調整ノブを時計回りに回す事により、ロックレバーが固くなり、ターンテーブルにしっかりと固定できるようになります。逆に反時計回りに回す事で緩くなります。クランプベースが滑らず且つ、スムーズに作業できる位置で固定してください。

メンテナンスと調整

テンションの補正

1. エスケープボタンとエンターを同時に押し、テンション補正モードへの切り替わりを待ちます。その後、テンション表示が 10Kg 又は 22LBS となります。
2. テンションゲージ(別売)の一方をクランプで固定し、もう一方を張り上げる要領でストリンググリッパーで引っ張ります。テンションゲージに表示された値をコントロールパネルのテンション表示ボタンを操作して入力し、エンターボタンを押します。
3. ストリンググリッパーのテンションを解除すると、20Kg 又は 44LBS と表示されます。
4. 2 と同じ要領で、テンションゲージを引っ張り、表示された値をコントロールパネルのテンション表示ボタンを操作して入力し、エンターボタンを押します。
5. ストリンググリッパーのテンションを解除すると、30Kg 又は 66LBS と表示されます。
6. 2 と同じ要領で、テンションゲージを引っ張り、表示された値をコントロールパネルのテンション表示ボタンを操作して入力し、エンターボタンを押します。
7. ストリンググリッパーのテンションを解除すると、40Kg 又は 88LBS と表示されます。
8. 2 と同じ要領で、テンションゲージを引っ張り、表示された値をコントロールパネルのテンション表示ボタンを操作して入力し、エンターボタンを押します。
9. ストリンググリッパーのテンションを解除すると、00 と表示されます。
10. 電源を OFF にした後、再度 ON にする事で再起動され、テンションの補正は完了です。

故障について

故障かな？と思ったら次の点をお調べ下さい。

状況

ストリングがクランプで滑る時

ストリングがグリッパーで滑る時

クランプベースの滑りが悪い時

電動部分が作動しないとき

ストリングのテンションがおかしいと感じたとき

次の点をお調べ下さい。

- ・ クランプの調整をしてください。
- ・ クランプのゴミ、油分を除去してください。
- ・ グリッパーのチャック部分のゴミ、油分を除去してください。
- ・ グリッパーのチャック部分にストリングが正しく挟まれているかどうか調べてください。
- ・ クランプベースとターンテーブルを清掃してください。
- ・ 電源部分を確認してください。
- ・ コードが接続されているか確認してください。
- ・ ヒューズを確認してください。
- ・ 別売りのテンションゲージでチェックしてください。

定期的な清掃

ご購入から時間が経過するにつれ、クランプやストリンググリッパー部分に、ゴミや油分が溜まりストリングが滑る原因になりますので、定期的に清掃してください。

本機には、故障した場合に故障の箇所を知らせる自己診断機能が付いています。

通常通り作動しない場合は、下記のようなエラー表示が現れます。万が一エラー表示が現れた場合は、弊社まで連絡願います。

エラーコード一覧表

- | | |
|-----|---|
| C01 | 電源を入れた後、6秒以内にストリンググリッパーが右端のスタート位置に戻らない場合。 |
| C02 | 電源を入れた後、ストリンググリッパーがストリングを検知した場合。 |
| C03 | ロードセルへの初期電圧が高すぎる場合。 |
| C04 | モーターへの電流が大きすぎる場合。 |
| C06 | ストリングがクランプで滑った場合などに起こる、ロードセルの信号が突然止まった場合。 |
| C07 | モーターへの過電流(起動時にストリングが引っ張られた場合や、スイッチの一部が破損している場合) |

株式会社トアルソン

〒651-0078 神戸市中央区八雲通3丁目1番24号

TEL(078)232-1991 FAX(078)232-0213

2018年5月 第1版